

就学前施設再編説明会 （緑幼稚園）

場 所：緑幼稚園

日 時：平成30年6月14日（木）10時00分～11時50分

参加者：32名（就学前児童保護者26名、その他6名）

質疑等：

質問1 伊丹市幼児教育ビジョンの内容を私立幼稚園に行ってもらえるのか。公私立合同の研修を受講するだけでは、幼児教育の質が同じになることは難しい。研修を受けても独自の教育を行った場合、ペナルティはあるのか。

回答1 幼児教育ビジョン・カリキュラムは、国による指針を土台に策定しており、本市は、国が定める10の姿の中で、特に「愛情」「自然」「ことば」を大切に教育することとしました。既に各施設では、10の姿に基づき教育を行っています。

さらに、今後設置する幼児教育センターで研究・研修を行うとともに、アドバイザーを設置し、各施設からの相談を受けるとともに、各施設へ訪問し保育内容を確認します。また、こども園が拠点となり、公私立・幼保問わず、地域ごとに同じ方向を向き教育を行う予定です。現在は、民間施設、認可外保育施設にもカリキュラムを持参し、信頼関係を築いている段階であり、今後、市内全体の幼児教育の質を向上させていきます。

質問2 各施設で困っているときに、市が助けるシステムにしてほしい。幼児教育センターはすばらしいが、研修のために子どもとの触れ合いが少なくなるのではないかという不安がある。そういった要素が出た時には対応できるように進めてほしい。

回答2 そういったことにも対応できるよう、幼児教育センターを設置することとしています。

質問3 「閉園時期を早く決めてほしい。」と「納得のいく回答が得られるまで計画を進めないでほしい。」の両方の保護者がいる。後者の保護者の意見を取り入れてほしい。

回答3 「納得のいく回答が得られるまで計画を進めないでほしい。」ということについては、今、ご意見を伺っているところです。緑幼稚園では、みずほ幼稚園に通えるのかという不安を解消したいと思います。ただ、

再編について、早く決定してほしいという意見も多くいただいております、それらも考慮して再編時期を決定します。「閉園ありきではなく存続してほしい。」ということについては、閉園する園は1月臨時議会で決定されました。

質問4 ニーズ調査の根拠と進捗状況を教えてください。

回答4 ニーズ調査の結果は冬に公表されます。緑幼稚園区の子どもは、4歳児・5歳児にみずほ幼稚園に入園することになっても、おそらく抽選はありません。3歳児については、これまでの実績がないため、ニーズ調査（3,000人を抽出）を活用し希望者数を把握することが目的です。平成31年度4歳児の募集定員は690人の予定であり、事務を進める上では、抽選になることも考えなければなりません。

質問5 閉園時期が決定していないが、平成32年度にこども園が開園するならば閉園の期限が決まっているのではないかと。平成32年度という時期はどのように決まったのか。

回答5 4歳児の園児数が10人を割るような公立幼稚園があり、教育環境をより良いものに改善するために、どうすれば良いのかという観点で、平成32年の再編を計画しました。

質問6 3歳児保育や預かり保育を実施しても、園児数が増えないため再編するという順番にできなかったのか。

回答6 私立幼稚園が創立当初から3歳児保育を実施してきた、公立幼稚園は1年保育、2年保育を実施してきたという経緯から、公立幼稚園と私立幼稚園の住み分けとして、公立幼稚園では3歳児保育を実施していません。阪神間におきましても、今ある施設数を維持しながらの3歳児保育や預かり保育は実施できていません。今回、国の方針でも3歳児保育が打ち出され、伊丹市においても施設数を縮小する中で、3歳児保育や預かり保育実施の方向に踏み出せることになりました。

質問7 緑幼稚園では、年長は緑丘小学校のプールや図書室を利用するという体験があるが、統廃合後もその体験ができるのか。平成32年度の再編時に、緑幼稚園で幼児教育として大切にしてきた内容・行事を、みずほ幼稚園でも実施されるのか。

回答7 公立幼稚園の方針や行事は、どの施設も方向性としては同じ内容としています。小学校との接続についてですが、小1プロブレムは子ども

の問題ではなく教師の問題だと言われており、1番大切なことは、幼稚園・保育所でどのような教育を行っているのかを小学校教諭が知ること、幼稚園・保育所の先生も小学1年生の教育内容を知り、互いの教育内容を理解することです。

質問 8 緑幼稚園とみずほ幼稚園のすり合わせは、平成32年度までに行われるのか。園長同士、保護者同士の意見をすり合わせ、閉園の1年前から、緑幼稚園とみずほ幼稚園で同じ生活ができるようにしてほしい。

回答 8 平成32年度にみずほ幼稚園の内容に合わせるのではなく、保護者や先生が各園の積み重ねてきた良いところをすり合わせ、そのようなことをしている先生の姿を子どもに見せながら、子どもにとって何が一番良いことなのかを考えていきます。

質問 9 緑幼稚園とみずほ幼稚園の意見をすり合わせ、今年10月の願書提出時まで教育内容等を決定し内容を示してほしい。

回答 9 同じ幼稚園に通っていても、4歳の時と全く同じ生活・行事等を5歳児の時に行っているかという点、前例踏襲ではなく毎年見直しを行います。また、子どもの姿を見ながら年度途中で内容を変更することもありますので、再編後のみずほ幼稚園の教育・行事内容について具体的なことは言えませんが、必ず意見のすり合わせを行い、教育内容等を決定します。子どもたちがみずほ幼稚園に通うことが楽しみだと思えるような保育を行います。

保護者の方の不安材料はそれぞれ違うため、入園するにあたっての保護者の心配事を教えていただければ、事前に検討します。

質問 10 市長は各園を1度ずつでも訪問したことがあるのか。SNSで問題発言した職員もいるが、その事実を知らない人もいる。そのようなことをうやむやにしている。幼稚園から小学校卒業まで1クラスで少人数の地域でも、子どもはしっかりと育てている。子どもが多いほうが教育環境は良くなると言われても納得できない。選挙で選ばれた議員が統廃合に否決したにもかかわらず、市長は禁じ手である再議を発動し、決定したという経緯があるため、市長にもう少し誠意を示してほしい。

回答 10 この説明会の内容は、市長や教育長にしっかりと報告しています。

質問 11 平成32年はみずほ幼稚園に転園になるかもしれないということは不安だ。子どもに緑幼稚園がなくなれば5歳の時にどこの幼稚園に行く

のかを尋ねられても決まっていないため説明できない。

回答 11 31年度園児募集時に5歳児の転園希望先の幼稚園等を決めて入園していただくこととなります。例えば、31年度4歳児で緑幼稚園、32年度5歳児でみずほ幼稚園を選択していただいた時に、32年度5歳児の定員が超えておれば、31年度園児募集時に抽選をしていただくこととなります。

質問 12 4歳児でみずほ幼稚園を選択した人が、5歳児の時に転園する可能性があるのか。

回答 12 抽選になれば、あり得ます。

質問 13 保育所では、閉園になる西保育所に通っている子どもは、入所前に南西部こども園に通うことについての同意書をとっている。西保育所に入所すれば、自動的に南西部こども園に行くことができるが、幼稚園でも同じ制度をとれないのか。

回答 13 幼稚園は1クラスの定員数が決まっており、その定員に合わせてクラスを設定しているため、希望者が多ければ抽選になります。

質問 14 5歳児の入園希望者数にあわせて、4歳児の定員を設定できないのか。

回答 14 4歳児が30人、5歳児が35人定員であるため、5歳の段階で10人（2クラス分）多くなることから、一定、定員数は確保できています。

質問 15 4歳から5歳に上るときに、友達と別れて新しい幼稚園に通い、小学生になる時に新しい幼稚園での友達と別れ、また小学校の友達と一緒にいる子どもが出てくる可能性があることについて、どのように考えているのか。子どもにとって何が一番良いことなのかを考えてほしい。

回答 15 1人だけ抽選に外れて通えないということは望んでいません。5歳児で必ずみずほ幼稚園に通えるとは言い切れませんが、5歳児は2クラス設定を、教室があるならば3クラスにする等については検討していきます。